



たんぽぽぐみたより

2024年3月1日発行

「節分」には年長さん扮するちょっとぴり怖い鬼たちがやってきて、たんぽぽ組の子どもたちも鬼退治をしました。最初は何事か分からず、硬い表情で見ていた子どもたちでしたが、保育者の後ろに隠れながら「おにはそと〜！」と頑張る子、逃げ込みながらも怖いもの見たさで覗きこむ子と、それぞれの姿で邪気を追い払った子どもたち。おかげで暖かい「春」を感じる日も増えてきましたね。

3月3日は「雛まつり」。

クラスでお雛様作りも楽しみました。台紙にあるお内裏様とお雛様に、千代紙をペタペタと貼って、素敵な着物を着せてあげることができました。指先を使って慎重に貼っていく子、両面テープの感触が気になり手でその感触を楽しんでいる姿も見えました。完成すると「できたよー！」と友だち同士で見せ合いっこをしたり、保育者に見せに行ったり嬉しそうな表情が見られました。「早くお家に持って帰りたい！」と持ち帰りを楽しみにしています。

そんなたんぽぽ組で過ごすのも残り少なくなりました。4月にはお母さんお父さんと離れるのがさみしく泣いていた子どもたちも、今では休みの日でも「保育園に行きたい」と楽しみにしてくれていたり、登園すると余裕の姿で“バイバイタッチ”をして自分から室内に入ったりと本当に様々な場面で成長を感じます。

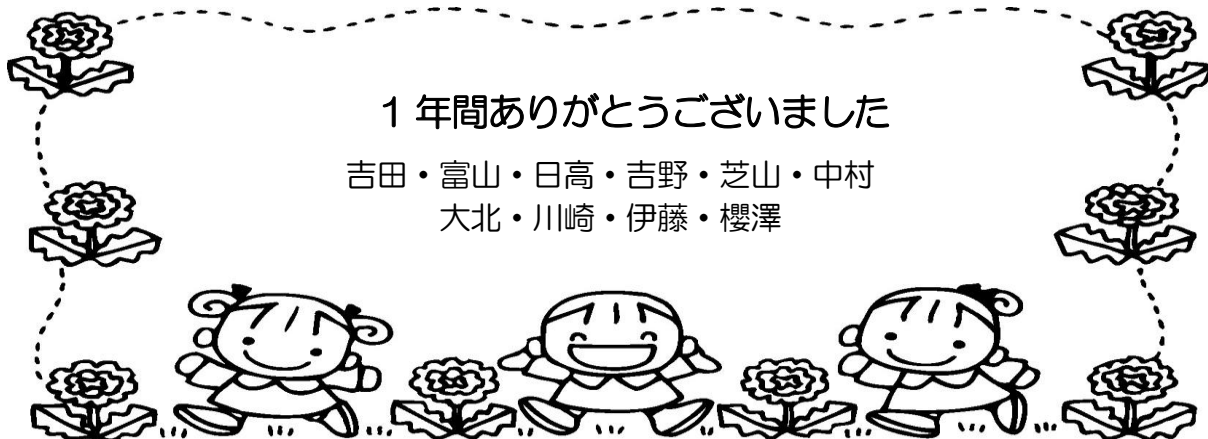
遊びの場面でも、自分の好きな遊びをしていた姿から、だんだんとお友だちに興味関心が向いてきて先生や友だちのお名前を呼んでみたり、一緒に誘いあって遊ぶ姿が増えました。

園庭遊びでは、靴を履いてお友だちと手をつないで歩いたり、「まてまてしよう！」と保育者や友だちを誘って「追いかっこ」や「かくれんぼ」をしたり、砂場で泥遊びをしてお団子やアイスクリームなど作る姿も見られ、それぞれに好きな遊びを見つけながら、楽しんでいる姿が見られました。

この1年で心も身体も大きく、たくましく成長しましたね。

進級まで残りわずかですが、楽しく子どもたちと過ごしていきたいと思っています。

この一年間、ご協力ありがとうございました。残りわずかですが、よろしくお願いいたします。



1年間ありがとうございました

吉田・富山・日高・吉野・芝山・中村
大北・川崎・伊藤・櫻澤